

「(仮称)つくばエクスプレスと都心部・臨海地域地下鉄の接続事業化促進期成同盟会」への参加について

つくばエクスプレス沿線7市首長懇談会より参加依頼のあった、「(仮称)つくばエクスプレスと都心部・臨海地域地下鉄の接続事業化促進期成同盟会」について、設立目的に賛同できることから当該期成同盟会に参加する。

1 各鉄道事業の状況について

(1) つくばエクスプレス (TX) の東京駅延伸

TXは秋葉原駅とつくば駅を結ぶ首都圏北東地域の重要な鉄道として平成17年に開業した。

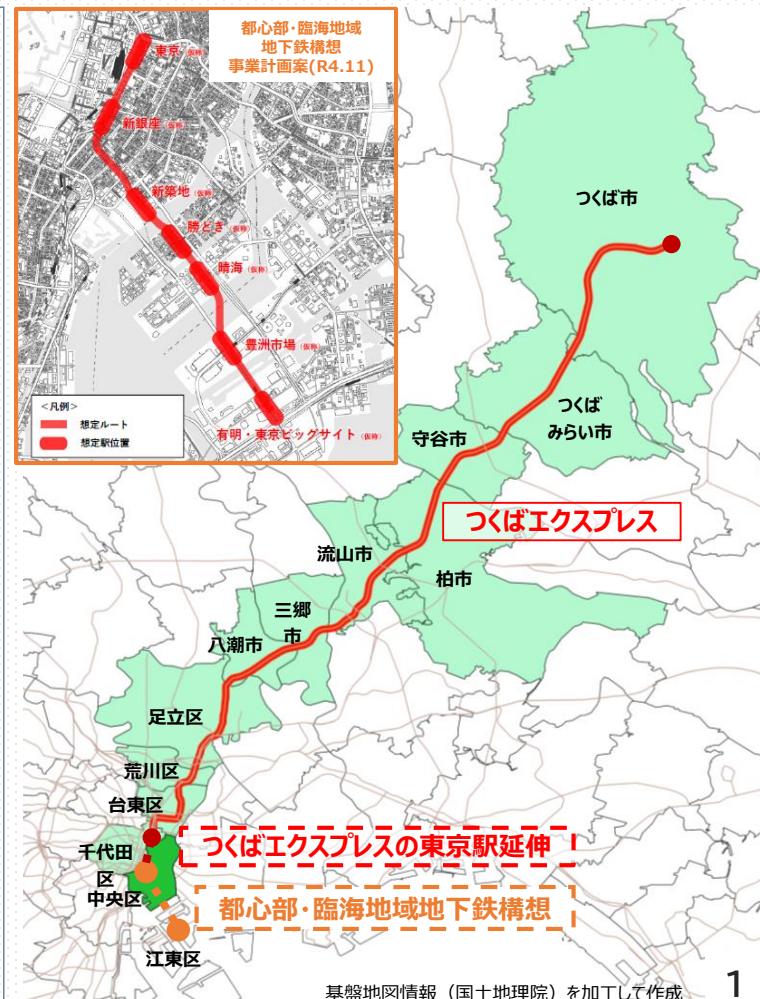
開業以来、沿線9市区は鉄道事業者である首都圏新都市鉄道(株)や関係機関に対し、TXの東京駅延伸等についての要望活動を実施している。

平成28年4月交通政策審議会答申第198号ではTX延伸(秋葉原～東京)が、国際競争力強化に資する鉄道ネットワークのプロジェクトに位置付けられる。

(2) 都心部・臨海地域地下鉄構想

答申第198号に都心部・臨海地域地下鉄構想の新設及びTX延伸との一体整備が位置付けられ、令和3年7月交通政策審議会答申第371号においては、同構想は臨海部と区部中心部をつなぐ基幹的な交通基盤としての役割を担うことが期待され、TX延伸との接続も含め、事業化に向けて検討の深度化を図るべきと示された。

東京都は令和4年11月に事業計画案を、令和6年2月には事業への参画予定者と事業計画の検討に係る3者合意を公表するなど、検討が加速化している。



2 当該期成同盟会について

(1) 設立目的

埼玉県・千葉県・茨城県のTX沿線7市で構成された「TX沿線7市首長懇談会」は、都心部・臨海地域地下鉄構想の事業計画の検討が加速化しており、この機を捉えて「TXの東京駅延伸」と「都心部・臨海地域地下鉄構想」の接続に向けた検討を早急に行うことが必要であることから、期成同盟会を発足し、国等の各関係機関に対し積極的に働きかけを行うこととした。

(2) 構成団体（案）

TX沿線市区・都・県・議会・商工団体等

(3) 設立予定時期

令和6年12月

3 区の取組と今後の方針について

(1) これまでの取組

○検討調査

平成26年度から臨海部と都心部を結ぶ地下鉄新線の導入に関する検討調査を開始。

令和2年度には、都心・臨海地下鉄新線をTXと接続して整備することで、地下鉄新線の事業性が向上することを確認。

○TX沿線自治体との連携

平成30年度からTX沿線7市首長懇談会にオブザーバー参加。

令和3年度から都心・臨海地下鉄新線推進大会にTX沿線自治体代表が来賓出席。

(2) 今後の方針

当該期成同盟会に参加し、両路線の接続事業化の検討を加速させ、都心・臨海地下鉄新線のさらなる早期実現を目指す。